

つねに、より高きものをめざして  
AD ALTIORA SEMPER, UNIVERSITAS CHIBA



# 千葉大学

Newsletter of Alumni Association, Chiba University

# 校友会報

No.6  
2012年10月1日



最近の千葉大学  
卒業生便り  
附属図書館リニューアル  
SNS「Curio」



千葉大学校友会

<http://www.chiba-u.ac.jp/general/project/alumni/>

## ボランティア活動センターについて

ボランティア活動支援センターは、昨年3月末、東日本大震災をきっかけにボランティア活動を行う学生・教職員を支援することを目的として設置されました。それ以来、センターでボランティア登録をした人を主な対象として、ボランティア活動の企画、ボランティア募集情報の提供、活動用品の貸与・支給などの支援活動を行っています。またこのような物質的なサポートの他、活動前の研修や活動後の振り返り、交流会などを通して、不安を取り除けるような精神的サポートも行っています。昨年度は、8・9月に企画した2回の被災地へのボランティアツアーに、計72人の学生・教職員が参加した他、延べ1000件以上の被災地支援活動がセンターに報告されました。

センターでは今後、求められる被災地支援のあり方の変化に合わせて、福島県の富岡小・中学校を継続的に支援していく方針で、これまでに現地の豆まき行事への参加や運動会のお手伝いなどの活動を行いました。

また今年3月、1年間にわたる千葉大学の被災地支援活動をまとめた冊子『3.11を想う - 東日本大震災と若者たち -』を発行いたしました。ボランティア活動支援センターのホームページからも閲覧することができますので、ぜひご覧ください。

		学生		教員		職員	
		男	女	男	女	男	女
登録完了者	200	68	109	6	1	6	10
登録準備中	42	13	25	0	0	2	2

場所	件数	主な活動内容	
岩手県 遠野市、陸前高田市	108	宅地清掃、がれき仕分け・撤去、 牡蠣養殖いかだ製作 など	
宮城県 仙台市、石巻市、 気仙沼市	45	清掃活動、雑草取り、 ブルーベリー苗木指導講習会開催、 コミュニティーガーデン整備 など	
福島県 三春町	51	学校行事(運動会)支援、放射線教育、 児童心理ケア	
新潟県 十日町市	105	農業支援	
千葉県	旭市	1	介護老人施設支援
	佐倉市	1	要望聞き取り、レクリエーション
その他			
合計	311		

## 千葉大学校友会とは



千葉大学校友会

千葉大学校友会は、元学長磯野可一氏の発案で平成14年に発足いたしました。今まであまり交流のなかった学部同窓会を横にまとめ、大学内外で団結し、千葉大学と同窓生との情報交換や連携協力を緊密にすることにより、同窓会、ひいては大学の発展貢献することを目的として設立されました。

## 表紙写真

### ボランティア活動センター





# 最近の 千葉大学

千葉大学の最近の動きをご紹介します。

**教育学部卒業生の辻村深月さんが、第147回直木賞を受賞しました**

「鍵のない夢を見る」で、第147回直木賞を受賞した辻村深月さんは、教育学部を2002年3月に卒業しました。

その後、小説を書き続けるため、故郷の山梨県に戻り、団体職員として働きながら、2004年「冷たい校舎の時は止まる」で第31回メフィスト賞を受賞してデビュー。

直木賞には、第142回「ゼロ、ハチ、ゼロ、ナナ」、第145回「オーダーメイド殺人クラブ」で候補に上り、今回の受賞は3度目の正直となりました。

また、第32回吉川英治文学新人賞を受賞した「ツナグ」は、映画化されています。

直木賞を受賞した辻村さん



**千葉大学などを中心とした国際共同研究チームは、世界最小の磁気記録メモリの開発に成功しました**

大学院融合科学研究科の山田豊和特任准教授とドイツのカールスルーエ工科大学の宮町俊生博士などを中心とした国際共同研究チームは、ナノ分子中の鉄原子1個に情報の記録が可能であることを実証しました。

情報を記録する素材としては、一般的に磁石が使われています。同チームは、2009年に、物質を構成する最小単位である原子1つからなる磁石の開発に成功していましたが、実用化には不安定な状態でした。

今回、鉄原子の周囲を炭素などで覆って、ナノ分子化することで安定化につながることが判明したのです。

これが実用化されれば、世界最小の磁気記録メモリとなり、今後、低コストでコンパクト・省エネな情報端末の開発を加速させることに

なります。

研究成果については「ネイチャーコミュニケーションズ」(英科学誌オンライン版)に掲載されました。

**園芸学部100周年記念館 戸定ヶ丘ホールが完成しました**

園芸学部は、明治42年に「千葉県立園芸専門学校」として創立され、その後「千葉県立高等園芸学校(大正3年)」、「官立千葉高等園芸学校(昭和4年)」、「千葉農業専門学校(昭和19年)」と改称されたのち、現在に至り、平成21年に創立後、満100年を迎えました。

その記

念事業となる、記念館「戸定ヶ丘ホール」が松戸キャンパス内に完成しました。



**植物細胞工学研究グループの三位教授らが青色のダリアの作出に世界で初めて成功しました**

ダリアには、青い花の品種がなく、バラと並んで欧米では不可能の代名詞とされており、育種家や生産者の長年の夢でしたが、今回、遺伝子組換えにより、世界で初めて青色の花色をもつ品種の作出に成功しました。

この研究は、大学院園芸学研究所植物細胞工学研究グループの三位正洋教授及び大学院生の大谷祐子さんが、ツクサ由来の青色遺伝子をダリアの培養細胞に導入し、個体再生および開花に至っ

大和姫の組換え体とピンクの八重品種と交配してできた八重の青花個体



たものです。

これは、遺伝子組換えが持つ品種改良技術としての優れた可能性を示唆するもので、今後は、さらに従来存在しなかった品種の青い花の開花が期待されます。

**千葉大学は、文部科学省平成24年度グローバル人材育成推進事業(Aタイプ)・全学推進型)に採択されました**

本事業は、グローバルな舞台に積極的に挑戦し活躍できる人材育成を図るための大学教育の体制整備推進事業に、文部科学省が重点的に財政支援を行うもので、本学が申請したAタイプは大学全体で設定目標の達成を目指す取り組みで、実施期間最大5年間、年間補助金額の上限は2億6千万円(本学入学定員の場合)という事業です。世界を先導する教育・研究を促進する大学を目指す、「グローバルキャンパス千葉大学」に期待ください。

**福島の仮設の小中学校に小型の植物工場を設置しました**

環境健康フィールド科学センターは、福島県富岡町の4小中学校が統合した仮設学校に、理科の授業や食育などに活用することを目的として、小型の植物工場を設置しました。

この植物工場は、本学が三協フロンティア、三井不動産、みらい(本社松戸市)と共同開発したものです。LED照明で光合成をさせ、コンピュータで生育環境を管理することで、月に80〜90株のレタスやサラダ菜の水耕栽培が可能です。

運営期限は、2013年3月末までですが問題がなければその後も継続する予定です。



仮設の学校に設置された1坪の小型植物工場「みらい小学校バージョン」

**台湾の成功大学80周年記念マラソン大会で千葉大学陸上部が3位入賞しました**

本学と大学間協定を締結している台湾の成功大学において、20大学が招待を受け、創立80周年を記念したマラソン大会が開催されました。小野寺道昭氏(法経学部4年)、高橋翔氏(法経学部3年)、林佳志乃氏(教育学部2年)森島円氏(教育学部1年)の陸上部4名が参加し、見事3位に入賞となりました。

表彰される千葉大学チーム



**山中湖村夏季診療グループが山梨県知事から感謝状を授与されました**

医学部の山中湖村夏季診療グループが、50年以上にわたり登山者の救護に多大な貢献をしてくるたとして、山梨県の横内正明知事から感謝状を授与されました。

昭和32年に山梨県は富士山7合目救護所を開設し、本学医学部にその運営を託しました。もともと地元の無料診療所として医学部山中寮が機能していたことから、山中寮のOB医師と学生が共同で取組み、平成16年からは、OBの大島医師が代表を務める山中湖村夏季救護医師団と学生との共同という形でこの活動を継いできました。



横内山梨県知事(左から4人目)、大島医師団代表(右から4人目)と医学部学生及び地元関係者

**医学部附属病院が、千葉県知事より東日本大震災に係る知事感謝状を授与されました**

医学部附属病院は、東日本大震災において被災地及び被災された方々への医療支援活動により被災地の復旧復興に大きく貢献したとして、森田健作千葉県知事より感謝状を授与されました。

同病院は、現在も全国の国公立大学病院と連携し、被災地において、特に医師の不足している医療機関を対象に専門医の長期派遣を行うなど、精力的な支援活動を続けています。



感謝状を授与する森田千葉県知事

**千葉大学環境報告書2011が、第15回環境報告書賞公共部門賞を受賞しました**

千葉大学環境報告書2011は、第15回環境報告書賞(東洋経済新報社、グリーンリポーターングフォーラム)公共部門賞受賞を受賞しました。

表彰式には環境報告書2011の編集長を務めた鈴木富美子(文学部3年)氏が代表として出席し、東洋経済新報社の柴生田晴四代表取締役より賞状とトロフィーを受け取りました。

本学の環境報告書は、原案作成から編集作業までを千葉大学環境ISO学生委員会の環境報告

環境報告書デザインを担当した後藤武臣さん(左)と鈴木編集長



書班を中心としたメンバーが担っており、多くの学生が関わっていることが大きな特徴です。

今回の受賞に際しても、審査員講評として「学生が主体的に参加している活動がわかりやすく開示されており、質量ともに優れている」ことが特に評価された点とされています。

**SEEDS基金にご寄附いただいた方々に感謝の気持ちを込めてプレゼントいたします**

SEEDS基金金寄附記念品として、3種類のピンバッジを作成いたしました。

5千円以上のご寄附をいただいた方には、その中から1種類、また、5万円以上のご寄附をいただいた方には、プレミアム額装セットがプレゼントされます。



## 自然科学研究科同窓会の休会について

平成18年3月に発足した自然科学研究科同窓会は、平成19年4月、自然科学研究科が、理学研究科、工学研究科、園芸学研究科および融合科学研究科の4研究科に改組された後も自然科学研究科に所属する大学院生が多数在学しているため、同窓会を維持しておりました。しかし、改組により所属教員による運営が行えず、業務の多くは、指導教員の所属していた基礎学部である理学部、工学部および園芸学部の各同窓会に頼ることとなりました。

平成19年度に、自然科学研究科同窓会役員会は、新しい同窓会のあり方について検討を重ねた結果、平成23年度を目途に理学部、工学部および園芸学部の同窓会に業務をお引継ぎいただくのが最善であるとの結論に達し、自然科学研究科同窓会を休会にすることにいたしました。

併せて、自然科学研究科同窓会は、平成24年度の校

友会総会をもちまして、校友会を退会することになりました。

なお、このことは、理学、工学、園芸学、融合科学研究科の4研究科長の協議機関である自然科学研究科アソシエーションの平成23年11月例会でご承認いただいております。

短い活動期間でしたが皆様のご協力とご寛容に深く感謝いたします。

今後は、会員の皆様の情報交換の場を理学部、工学部および園芸学部の各同窓会にお移しくださいますようお願いいたします。

会員の皆様で、どの学部の同窓会に所属するのかご不明のかたは校友会事務局までお問い合わせください。

自然科学研究科同窓会

幹事長 大橋 一世

## 有料応援広告


# 私たちは千葉大学を応援しています

※有料広告を募集しています。校友会事務局までお問合せください。



**おかげさまで 80 周年**  
**一般財団法人 同仁会**  
 〒260-0856  
 千葉市中央区亥鼻 1-8-1  
 千葉大学医学部附属病院内  
 TEL : 043-227-5920  
<http://www.dojinkai.org/>

当会は医学振興や社会文化向上に寄与するため、千葉大学における医学研究への助成及び患者様や教職員の皆様の利便性に資するため多様な施設・設備をご利用頂けるよう努めて参ります。



**京葉銀行は**  
**ソーラー・デカスロン・ヨーロッパ2012を**  
**応援しています。**

あふれる活力を、次のサービスへ。  
**京葉銀行**

✂️ 切り取ってお持ちください

**サービスクーポン券**

ハーバーシティ蘇我内ゴルフ練習場

**ゴルフリゾート SOGA**

一球 **7円** 平日 17:00 まで

奥行き200ヤード・92打席

- 3階建
- オートティーアップ
- シャワールーム完備
- 個室打席1部屋
- ゴルフリゾート花見川共通カード
- スイングモニター設置8台
- 全打席大型暖房機設置
- カフェ・ショップ・スクール

千葉大学校友会限定

**100球無料サービス**

〒260-0835  
 千葉県千葉市中央区川崎町1-40  
 ☎ 043-261-1711

✂️ 切り取ってお持ちください

**サービスクーポン券**

ゴルフリゾート花見川

- オートティーアップ
- アプローチ練習場
- 全打席冷暖房
- レストラン
- ゴルフスクール

奥行き200ヤード・92打席

千葉大学校友会限定

**100球無料サービス**

〒262-0043  
 千葉県千葉市花見川区天戸町1229  
 ☎ 043-286-5888

✂️ 切り取ってお持ちください

✂️ 切り取ってお持ちください

# 附属図書館 リニューアルオープン

平成24年3月16日千葉大学附属図

書館本館は、アカデミック・リンクと  
いうコンセプトの下、新しくオープン  
しました。

「考える学生の創造」を目指して、個  
人でもグループでも快適に学習で  
きる空間、学習を支援するための教  
員、図書館員、スチューデント・アシ  
スタント等の人的サポート、学習に  
必要な様々な図書、電子資料、動画  
等も含めたコンテンツを提供する新  
しい学習環境です。



N棟正面



図書館に入って、カウンター前の階段から上がるN棟2階は、自由なグループ学習のための空間です。机、椅子、ホワイトボード等を自由に組み合わせて勉強する姿が見られます。



増築された新しい図書館の正面です。玄関は、写真の左端にある自動扉です。玄関に続く1階南側ガラス面は全面開放が可能です。内部にあるプレゼンテーションスペースでイベント時はとてもオープンな雰囲気になります。

## 附属図書館、ご案内



N棟4階には、ガラス張りのグループ学習室が4室、研究個室が8室あります。グループ学習室は机を簡単に並べ替えることができ、ホワイトボードやプロジェクター、パソコン等も利用できます。話し声は外へ響かず、集中してディスカッションができます。透明な隔壁や各階のオープンな空間で学習する姿を見ることにより、学習への意欲を喚起する構造としています。



学生用の教育用端末約50台を設置しています。個人用の普通サイズのディスプレイの他に、グループで同じ画面を見ながら勉強できる大型ディスプレイも用意されています。



N棟 2・4F 窓側閲覧席



N棟各階の窓際にはゆったりした個人閲覧席が設けられており、南側にある語らいの森の樹々が階ごとに違った風景を見せます。N棟はどこでも無線LANを利用することができます。



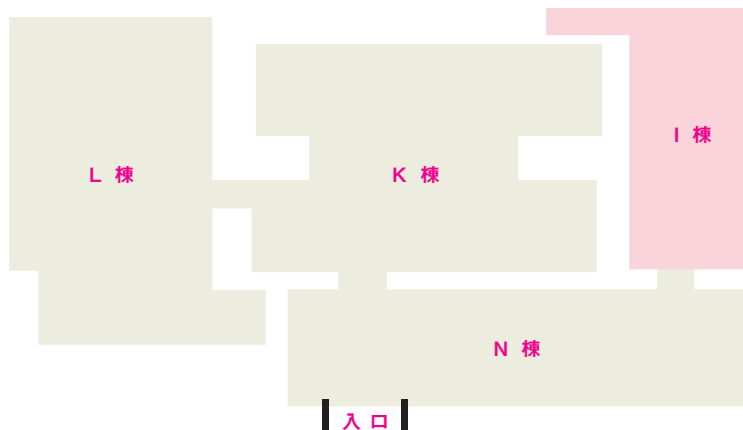
N棟 1F プレゼンテーションスペース



プレゼンテーションスペースはN棟1階のエントランスホール横の開放空間で、授業が行われることもあり、他学部の授業を体験することができます。写真は工学部建築設計の発表授業の風景です。お昼休みに「1210あかりんアワー」というイベントを定期的に行っています。この中の「教員が研究の楽しさを語る」シリーズで、普段なかなか聞けない先生の研究分野の解説を聞いたり、「千葉大人の意外な一面を発見する」シリーズで、弦楽四重奏、雅楽演奏、謡のパフォーマンス等を視聴したりします。またこうした催しの参考資料をN棟の書架(ブックツリー)に展示し、新たな興味と学習のきっかけを提供しています。

附属図書館本館平面図

新規オープンに際し、南のN棟と東のI棟を増築しました。N棟は、静寂を基本とする従来の図書館空間とは異なる、対話型コミュニケーションを促す学習空間として学生が自由に使いこなしています。I棟は研究開発、コンテンツ制作のための設備を設けた研究棟です。西のL棟(新館)、北のK棟(旧館)には、図書と雑誌バックナンバーの書架が並び、静寂な空気の保たれた学習空間となっています。



卒業生は、**千葉大学附属図書館の資料の利用や貸出ができます**。開館日程やサービス内容等についてはホームページをご確認ください。また、新規オープンに際し、入館時に利用カードが必要になりました。利用カードがない方は、入館ゲート脇のインターフォンを使ってカウンター職員に声をかけてください。また、継続的に利用する場合は利用カードの申し込みができますので、カウンター職員にお尋ねください。

附属図書館URL:

<http://www.ll.chiba-u.ac.jp/>

アカデミック・リンク・センターURL:

<http://alc.chiba-u.jp/>

# 卒業生便り

昭和53年 人文学部卒

渡邊 誠吾



## 1. ABCと移動図書館

～多感な学生時代～

埼玉県立熊谷高校を卒業して人文学部法経学科に入学したのが1974年4月。法経学部同窓会の理事・学年幹事を仰せつかって33年振りに訪れた西千葉は一変していた。木造平屋だった駅舎は立派になりキャンパス内にも新たな研究棟が立ち並んでいた。

学生時代は、ABCと移動図書館で語られる。今振り返るとリベラルアーツを磨く時間が山ほどあった。Aは、Arbeit(アルバイト)。

Bは、Benkyo(勉強)、「Cは、Club(クラブ活動)。そして、移動図書館とは自宅から2時間20分の通学時間中に利用した約100分の電車内のことである。

アルバイトは、未成年は勉学に専念せよ、という親の方針もあり1・2年次は休日のみ。最初のバイトは、自宅近くのゴルフ打ちっ放し場の球拾いで時給250円。8時間勤務の2000円支給でショートケーキを買って帰った記憶がある。

3・4年次は、家庭教師中心だったが、2軒掛け持ち週5日をごな

# 人生七転び八起き



職場の仲間との懇親(旭川時代:筆者 左から4人目)



富良野スキー場にて 筆者(右端)

した。バイト代は、クラブの合宿費や運転免許証の取得、生活費で消えた。

勉強に力を注いだ、というのはちよつとおこがましいが、語学が好きで独語を第二外国語にして他に仏語、露語を聴講した。ラテン語は文字を見て辞退した。

しかし、独語以外は辞書を購しなかつたので全くものにならなかつた。ゼミは、尾吹ゼミ。教養課程の試験で「可なら不可」と書いたら本当にそうなつた。2年次はそうもいかずリベンジを期したがやはり可をいただいた教授である。主に米国判例の研究で言論の自由に関する論客であつた「ホームズ判事、ブランドイス判事」の名前は今でも記憶に蘇る。半田ゼミの民法「4大公害訴訟」の判例研究も印象に残っている。

クラブ活動は、硬式庭球部に所属した。中学・高校とプラスバンド部でトランペットを吹いていた人間なのでレベルは上がらなかつたが、

諸先輩の温かい指導や合宿等の思い出は尽きない。4年次に追い出しコンパの恒例で投げられた食堂前の池では、水の冷たかつたことが涙が熱かつたことを覚えている。

学生時代は、往復毎日約200分電車に乗っていた計算になる。図書館で本を読んだ記憶はあまり無く、教科書を読むのも小説を読むのも電車内が図書館代わり。最後は揺れていないと内容が頭に残らないほど。自宅の机で勉強しても落ちつかなかつた。塾のテスト採点のバイトも車内でやっていたが人目が気になり能率は悪かつた。

## 2. 社会の荒波へ

### 〜我以外皆我師〜

1978年3月に大学を卒業後、電電公社(現在のNTT)に入社した。当時、オイルショック後のエネルギー政策に興味があつたので就職にあつたの第一希望は、東

京電力だった。東京電力本社訪問後のある日、有楽町駅に向かって帰る途中、「入社願書受付中」という看板が目にとまった。試験日が11月3日と休日のこともあり、これもなにかの力試しと願書をもらって帰った。そこが電電公社だった。午前・午後の試験。その後の作文・面接を受けて運よく晴れて入社運びとなったが、人生は何が幸いするか本当にわからない。第一希望に入社できていたら今は全く別の人生を歩んでいたことになる。

大きな失敗は無かったものの、私個人としては受験勉強と会社訪問はもうごめんこうむりたいと思っている。

電電公社に入社後、北は旭川、札幌。西は神戸、広島とあちこち転勤を経験した。

若いときは、行く先々で人とのそして恵まれた自然との出会いがあり全て血となり肉となつて人格・人生の成長を感じることができた。しかし、人生50年を迎えた

とき、心に空虚な気持ちがよぎつた。自分を育ててくれた埼玉にまだ何も恩返しが出来ていないのではないか。おりしも異動希望提出の時期を迎え、私は、地元埼玉に根差した地域貢献活動・青少年の健全育成に力を注いでいること、自分がサッカー好きであること等を熟考して希望欄に「NTTスポーツコミュニティ」という会社名を記入した。

### 3. 大宮を愛する全ての人に支えられて、地域のために

希望が叶い、2007年1月12日にNTTスポーツコミュニティの社長に就任した。プロサッカークラブ「大宮アルディージャ」の運営会社であり、NTTグループの子会社でありながら異質の会社である。かくして通信事業しか知らない人間がスポーツビジネスの世界へと足を踏み出した。

スポンサー様へのご挨拶もさる



ワールドカップ南アフリカ大会 筆者(中央)



北京五輪でのスナップ

ことながら緊張したのは就任6日後に行われた新体制記者会見。J1リーグ3年目と新参者であるが、社長、監督、新入団選手のお披露目はそれなりの関心事である。30人位の報道陣を前に決意を表明する。これが最初のメディア対応だったが、その後、試合前や試合後折りに触れて社長としてのコメントを求められる。気の利いたコメントが出来れば良いのだが絶対的に語彙が不足していた。このときほど読書を重ね、歴史的洞察力や社会的教養、語彙を増やしておけばよかったと思っただけでは無い。

地元で働けることに喜びを感じ、NTTを退職して退路を断ち骨を埋めるつもりだった。爾来、社長在任中の3年10ヶ月は本当に夢のように過ぎた。海外・国内キャンプ、ホームタウンでのイベントや各種地域活動への参加、行政対応、スポンサー・サポーターとの交流、リーグ戦始めチーム全試合の

観戦、北京五輪、ワールドカップの観戦、監督の人选、選手獲得交渉等。現場で見た感動のゴールも全て頭に焼き付いている。

一番の思い出はなんといつても2010年に開催されたFIFA南アフリカワールドカップの観戦である。Jリーグチェアマン、各クラブの社長とともに参加したが、世界のスターが集うサッカー界最高峰の大会、日本戦2試合含め5試合観戦したが、間近で見たスーパースターのプレーは、今思い出すだけでも感動で身体が震える。

しかし、好事魔多し。2010年10月、不祥事が発覚して謝罪会見を行い、引責辞任することを心に決めた試合前、いつものようにスタジアムの入場口前でサポーターを出迎えた。迷惑をかけたサポーターからの罵声を覚悟していたが、皆が駆け寄ってきてくれて「今までありがとう。」「また帰って来いよ。」と握手を求めてくれた。本当に優しい温もりを感じる

手で、感謝の気持ちで涙が止まらなかった。

志半ばでの辞任は、本当に悔いが残った。スポンサー様等へのおわび行脚の際も恥ずかしながら悔し涙で言葉が出てこなかった。当時に比べれば、ひびの入った心は大分修復されてきたがなかなか元には戻らない。しかし、皆様に支えられていたことは辞任後の辛かった空白期間に改めて感じた。手を差し伸べてくれる大勢の人がいた。辛い試練を乗り越えて人の痛

みを感じられる人間になり改めて人と人との絆の大切さがわかった気がする。お世話になった皆様には本当に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

現在は、縁あってNTT東日本のグループ会社である(株)アイ・エス・エスで元気に勤務している。契約書・決算資料等を始めお客様の機密資料を万全のセキュリティでお預かりする会社ですが、保管スペースはまだまだ沢山あります。皆様のご利用をお待ちしています。

### 渡邊 誠吾氏 プロフィール

(株)アイ・エス・エス 代表取締役社長  
TEL: (03)3865-3133  
E-mail: watanabe@iss-jpn.co.jp

#### ■経歴

1955年生まれ。  
1978年千葉大学人文学部法経学科卒業。同年、日本電信電話公社(現 日本電信電話株式会社:NTT)入社。  
NTT-ME千葉 代表取締役社長、NTT東日本-千葉 副社長法人営業部長、NTTスポーツコミュニティ(大宮アルティージャ)代表取締役社長を経て2011年現職に就任。  
座右の銘は、「我以外皆我師」。「真剣だと知恵が出る。中途半端だと愚痴が出る。いい加減だと言い訳ばかり」。



# 千葉大校友会SNS Curioの活動とこれから

千葉大学校友会では、学部同窓会の枠を越えて千葉大学関係者（卒業生、退職者、現役学生、在職者）が交流を図り、千葉大学で培った絆を維持・発展させることができ、2007年から独自のSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）である「Curio」の運営を行っています。2012年7月時点の会員数は約3500名であり、千葉大学関係者全体から見ればまだまだですが、管理・運営方針を検討する事務局の会合を毎月開催してシステムや内容の手直しを重ねながら、千葉大コミュニティの形成に資するインフラとしての役割を果たそうとしています。

## facebook との連携

今年度中に行われた「Curio」の大きな変更点の一つが、facebookとの連携です。

現在はインターネット上に数多くの交流手段や情報発信手段があり、その一つに過ぎない「Curio」

が単独で果たすことができる役割には限界があります。すでにfacebookやTwitterを利用していらっしゃる方にとっては、「Curio」の利用は二度手間に思えるかもしれません。また「Curio」としても、果たすことが役割を拡大していくためには「Curio」というSNSがあること自体を多くの千葉大コミュニティのメンバーに知っていただくことが必要です。

そこで今年度は「Curio」の会員がfacebookの会員でもある場合には、「Curio」の会員トップページにそれぞれのfacebookのタイムライン（活動履歴）を自動的に表示することができるようにシステムの変更を行いました。また、facebookの中にも「Curio」ページを設けました。これらの新しい仕組みを用いて、「Curio」の存在をfacebookを通じてPRする取り組みしていきます。

## 「千葉大写真館」

「Curio」の事務局が呼びかけをし

て、「Curio」の中での活動を活性化するための様々な取り組みも続けていますが、最近多くの会員の方々に関心を持っていただいているのが「千葉大写真館」です。

千葉大学自体も時の流れの中で発展し、姿を変えています。その中で、特に卒業生の皆さんが大学で過ごした時代の想い出深い写真をライブラリとして掲載しております。「Curio」事務局としては、これまで以上に積極的に掲載可能な写真を収集し、ライブラリの充実を図っていきます。

また会員の皆様からの写真の提供もお願いしたいと考えております。よろしく願いたします。

## 連絡網とライブコミュニティ

SNSである「Curio」には、会員が自由に「コミュニティ」という活動を行うことができる機能があります。

「コミュニティ」は、複数の会員が「Curio」の中で一つのグループを作り、そのグループの中での交流を深めていく仕組みです。そして

「Curio」事務局では、その「ミニニ

ティ」を、千葉大学で培った絆をつないでいくための連絡網として活用していただきたいと思います。

すでに絆のある会員の方々と1つの「ミニニティ」を作っていたただけで連絡網が出来上がります。「コミュニティ」のメンバーへメッセージを「一括送信」することが簡単にできるだけでなく、掲示板やイベントの機能を用いて、書類の配布を行ったり、会合の日程調整を行うこともできます。

「ミニニティ」の中でのやりとりは、「ミニニティ」のメンバー以外の会員には非公開にすることも可能ですので、非常に安全性の高い連絡手段となります。

また、「ミニニティ」を用いた連絡網であれば、メンバーの方のメールアドレスを管理者の方が把握・管理する必要はありません。また出来上がった連絡網を、別の会員の方へ引き継いでいくこともできます。管理負担の小さい安定的な連絡手段として活用していくことがで

きるでしょう。

### 今後に向けて

「Curio」の活動に関しては、昨年度の校友会総会で、「同窓会名簿としての機能を強化する」という方針についてのご承認をいただきました。「Curio」事務局では今後そのための活動やシステム変更の検討を続けていきます。しかしながら、現実的に「Curio」を同窓会名簿として整備していくためには、

各学部同窓会や校友会会員の皆様のご理解と連携の強化が必要です。

ぜひ「Curio」の活動に関心をもち、いろいろなご意見をお寄せいただきたいと思います。よろしくお願いたします。

「Curio」の活動の詳細や事務局への連絡につきましては下記のサイトをご覧ください。

<http://www.chiba-u.ac.jp/sns/>

## 校友の皆様へ

同窓会・同期会・サークル等のイベントを母校で行いませんか。卒業生室では学内の会場確保や施設案内等の支援をさせていただきます。事前の連絡をお待ちしています。ご検討ください。

写真は去る6月30日にけやき会館で行われた工学部電気工学科 第14回生同窓会の様子です。



元気いっぱい  
“千葉大学歌” 斉唱



## 千葉大学SEEDS基金のご支援、ご協力をお願い

ご支援いただける方には所得税控除、或いは法人税全額損金算入のメリットがございます。

また、遺贈によるご寄附を承っております。一般のご寄附と同様、税制上の優遇措置がございます。校友の皆様のご支援・ご協力をお待ちしています。



千葉大学のより一層のご発展のために  
**遺言を活用した遺贈によるご寄附**  
のお手伝いをさせていただきます。

当行では、遺言書の作成に関するご相談や、作成のお手伝い、遺言書の保管・執行までをサポートいたします。

【遺言信託(遺言執行引受承諾業務)手数料】(平成24年4月1日現在、消費税等含む) ●遺言作成時:引受承諾料210,000円 ●遺言書保管中:遺言書保管手数料月額420円 ●遺言書変更時:変更手数料52,500円 ●遺言執行時:執行報酬(財産評価基本通達に基づく相続税評価額による執行対象財産額(課税価格の特例等により減額される前の評価額))に当行所定の料率を乗じた額の合計額(但し最低報酬額は105万円) ●詳しくは下記までお問い合わせください。

株式会社千葉銀行

資産承継サポートデスク TEL:043-301-8178



千葉大学校友会

千葉大学  
Newsletter of Alumni Association, Chiba University  
校友会報

第6号 2012年10月1日発行

千葉大学校友会

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33

TEL : 043-290-2109,3902,3903

E-mail : koyukai@office.chiba-u.jp

<http://www.chiba-u.ac.jp/general/project/alumni/>